

公益財団法人日本スポーツ協会
令和2年度第2回臨時理事会議事録

日 時 令和2年7月31日（金） 13:30～13:40

場 所 品川プリンスホテル アネックスタワー5階「プリンスホール」
※Web会議を併用

出席者

<理事>

伊藤雅俊会長、遠藤利明、草野満代の両副会長、泉正文副会長兼専務理事、大野敬三、森岡裕策の両常務理事、根本光憲、山下泰裕、平田竹男、坂元要、今井純子、鳥羽賢二、具志堅幸司、長島昭久、宇津木妙子、中谷行道、山倉紀子、坂本和彦、齊藤譲、小野力、茅野繁巳、石川恵一朗、永井邦治、高井信一、牧和志の各理事

<監事>

佐藤直子、比留間英人、村田芳子の各監事

理事総数27名、うち出席25名（会場9名、Web会議16名）で、定款第37条に基づき理事会成立。

定款第34条により、伊藤会長が議長となり議事に入った。

議 案

第1号 第75回国民体育大会（鹿児島県）について （大野常務理事）

第75回国民体育大会、鹿児島国体の開催可否の決定については、第1回臨時理事会決議の省略の方法により、5月20日付にて伊藤会長と大野常務理事に一任となっている。

7月8日に文書提案した第2回理事会では、今年秋に開催予定としていた鹿児島国体は、「今年の秋には開催しないこと」、「鹿児島国体は延期することとし、具体的な開催時期については、可能な限り早期の結論を得るべく、引き続き、調整・検討を継続すること」の2点について、当協会、日本障がい者スポーツ協会、スポーツ庁及び鹿児島県の4者で合意したことを報告している。鹿児島国体に引き続き、第20回全国障害者スポーツ大会、鹿児島大会が開催されることから、日本障がい者スポーツ協会を含めた4者で2つの大会について合意している。

この度の鹿児島国体の延期に際し、当協会では、令和15年、2033年まで開催が予定されている後催県13県に対し、鹿児島国体に関する検討経緯を説明するとともに、鹿児島国体の延期について意見交換を行ってきた。

延期時期についても、これまで複数の案を考え、後催県とも意見交換を行ってきた。

本来であれば、延期時期については、本理事会で審議すべき事項であるが、これまでの検討経緯から、開催可否の決定と同様に、当協会、日本障がい者スポーツ協会、スポーツ庁、鹿児島県の4者のトップレベル会合にて決定することとしている。

以上のことから、鹿児島国体の延期時期の決定、後催県との調整など、鹿児島国体延期に伴う事項全般の対応について、伊藤会長と大野常務理事に一任することを諮り、出席理事全員一致で可決された。

第2号 評議員及び役員選任規則の改定について (根本理事)

令和2年4月1日付にて、都道府県体育協会連合会の名称が、都道府県体育・スポーツ協会連合会に変更となったことから、評議員及び役員選任規則第3条第4号の団体名称を同様に改定することについて諮り、原案どおり出席理事全員一致で可決された。

以上、13時40分に閉会。